

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)サコス川島整備場計画	階数	地上2F
建設地	埼玉県比企郡川島町かわじま二丁	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	38 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年12月1日
敷地面積	12,000 m ²	作成者	鹿島建設
建築面積	3,250 m ²	確認日	2017.12.01
延床面積	3,692 m ²	確認者	加納 秀道



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 必要な天井高さ、階高を確保し、更新やメンテナンスに考慮した計画とする。 全館禁煙とし、空気質に配慮する。 節水、省エネルギーに配慮する。		その他 特になし
Q1 室内環境 事務室:天井岩綿吸音板,床:タイルカーペット F☆☆☆☆を全面的に使用 各居室で30m ³ /人の外気を供給 空気取入口は、各種排気口と方位を分けて設置	Q2 サービス性能 主な執務空間の天井高さ2.7m以上、階高4.3m以上 休憩室の計画 掃除用流し、清掃用具保管スペース等計画 ダクトはガルバニウム鋼板仕様 グリーン購入法特定調達	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし
LR1 エネルギー [BPI][BPI _m] = 0.74 [BEI][BEI _m] = 0.76	LR2 資源・マテリアル 節水型器具の採用 再生クラッシュラン、フロアリューム、ソーラトン 接着剤はF☆☆☆☆でトルエン、キシレン排除の対策品 新冷媒	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率 87% 適切な駐車スペースの確保 内照式サインと屋外灯のタイマーによる消灯

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮)サコス川島整備場計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.32		-	3.2
1 音環境						3.2	0.15	-	-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		事務室:天井岩綿吸音板、床:タイルカーペット				4.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.30	-	-	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境						4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を全面的に使用				4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						4.0	0.30	-	-	
1 換気量		各居室で30m ³ /人の外気を供給				4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		空気取入口は、各種排気口と方位を分けて設置				5.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.5
1 機能性						3.2	0.40	-	-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ						2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画						1.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		主な執務空間の天井高さ2.7m以上				4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		休憩室の計画				4.0	0.33	-	-	
3 内装計画						3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		掃除用流し、清掃用具保管スペース等計画				4.0	1.00	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.25	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.13	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		ダクトはガルバニウム鋼板仕様				5.0	0.13	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.25	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.25	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型器具の採用				4.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			4.3	0.30	-	-	4.3
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高4.3m以上	5.0	1.00	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		-	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			4.7	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	点検口の設置	4.0	0.25	-	-	
2	給排水管の更新性	ピット、パイプシャフトを確保	5.0	0.25	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック、OAフロア	5.0	0.13	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラック、OAフロア	5.0	0.13	-	-	
5	設備機器の更新性	将来スペース、点検口の設置	5.0	0.25	-	-	
6	バックアップスペースの確保		-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPIm] = 0.74	5.0	0.05	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.76	3.4	0.60	-	-	3.4
4 効率的運用			3.0	0.24	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.14	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.29	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン、フロアリウム、ソーラトン	5.0	0.29	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.29	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤はF☆☆☆☆でトルエン、キシレン排除の対策品	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 87%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車スペースの確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	内照式サインと屋外灯のタイマーによる消灯	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮)サコス川島整備場計画	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		=		5.8			
3.5		+		2.3					
重点項目の各スコアの合計点									
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上	 	非常によい 6.8以上	  	すばらしい 8.0以上	   		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
<配慮した内容を記述> 太陽光発電設備を導入する。ただし、全量売電する。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 特になし			

:入力欄